

独立行政法人水資源機構 分任契約職  
荒川ダム総合管理所長 山中 充治  
( 公 印 省 略 )

## 見 積 依 頼 書

- |         |                          |
|---------|--------------------------|
| 1 件 名   | 公用車故障診断(エクストレイル)         |
| 2 納入場所  | 埼玉県秩父市荒川久那4041 荒川ダム総合管理所 |
| 3 納 期   | 契約締結の翌日から令和8年3月10日       |
| 4 内 容 等 | 別添仕様書等のとおり               |

上記について、下記により見積合わせを行いますので競争契約入札心得を熟覧のうえ提出してください。

### 記

- |   |  |
|---|--|
| 1 現場説明  | 実施しません。  |
| 2 見積書等  |  |
| 1)様式等   | 見積書の様式は任意としますが、見積書には見積年月日並びに見積者の住所及び氏名(法人の場合は、法人名及びその代表者名)を記載し、代表者の印章を押印されたものに限りします。ただし、押印は「本件責任者及び担当者」の氏名及び連絡先を明記することで省略することができます。  |
| 2)提出方法  | FAX(又は電子メール)による。(※FAX番号は、4)に記載された番号)<br>なお、FAX(又は電子メール)に抛りがたい場合は、持参又は郵送(一般書留、簡易書留、その他配達の記録が残る方法に限る。)による。   |
| 3)提出期限  | 令和 8 年 2 月 26 日 12:00 まで   |
| 4)提出先   | 独立行政法人水資源機構 荒川ダム総合管理所 総務課 森<br>FAX 0494-23-7912 (電子メール) nyukei_arakawa@water.go.jp   |
| 5)見積回数  | 2回を限度とします。<br>なお、当初の見積徴取において予定価格の制限に達した価格の見積書がない場合の再度の見積書の提出については、改めて連絡するものとし、再度の見積書提出の期限は令和8年2月27日 12:00までとします。   |
| 6)その他   | ①見積価格は、見積者が消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額を見積書に記載してください。<br>②見積書を送信した後は、見積書の引き換え若しくは変更又は見積の取消しはできません。また、見積者は見積り誤り、見積書の書き誤り等を理由に見積りの無効を主張することはできません。 |
| 3 見積結果  | 見積結果については、 <b>契約の相手方として決定した者のみに、原則として提出期限の翌日(翌日が休日となる場合には休日でない直後の日)までに通知します。</b>   |
| 4 その他   |  |
| 1)契約金額は、見積書に記載された金額に当該金額の100分の10に相当する額を加算した金額(当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額)とします。 |  |
| 2)請負代金の支払いについては、履行確認後の一括支払となります。  |  |
| 3)最低金額を提出した見積者が複数ある場合は、「くじ」により契約の相手方を決定します。<br>くじの方法は、別添「くじの方法」のとおりとします。              |  |

# 公用車故障診断（エクストレイル） 仕様書

## 第1条 目的

本件は、独立行政法人水資源機構荒川ダム総合管理所（以下「機構」という。）で使用しているエクストレイル（以下「車両」という。）について、故障診断を実施するものである。

## 第2条 規格

対象車：エクストレイル（型式：DAA-HNT32）

## 第3条 履行期間

契約締結の翌日から令和8年3月10日までとする。

## 第4条 業務内容等

警告灯点灯（キーID警告）の診断を行い、診断結果の報告並びに修理見積書を作成し、機構に提出するものとする。

## 第5条 その他

本仕様書に定めのない事項については、担当職員と協議して決定すること。

以上

令和8年 月 日

独立行政法人水資源機構分任契約職

荒川ダム総合管理所長 山中 充治 殿

住 所

会 社 名

代表者氏名

見積依頼書等の交付受領書

令和8年2月12日に交付された「公用車故障診断（エクストレイル）」の見積依頼書等を受領しました。

〈連絡先〉

担当部署名：

担 当 者：

電 話 番 号：

F A X 番 号：

メールアドレス：

◆ くじ用数字

--	--	--

「くじ用数値」を記載いただくのは、最低価格者が複数となった場合に契約の相手方を決定するためです。詳細は、「くじの方法」をご覧ください。

## くじの方法

今回の見積徴取に際して、最低金額を提出した見積者(以下「同価格者」という。)が複数あった場合、以下の方法により、契約の相手方を決定します。

## 1. くじの方法について

同価格者の「くじ用数値」の合計を同価格者数で除算し、余りの数値と「くじ用順位」が一致する者を、契約の相手方とします。

## 2. くじ用数値について

1)「くじ用数値」とは、見積書を提出される方が、任意に決定していただく「0:ゼロ」から「999」の3桁の整数とします。なお、数値の記載等がない場合は「0:ゼロ」として取り扱わせていただきます。

2)「くじ用数値」の機構へ対しての通知方法は、機構から送信(FAX)した見積依頼書の受信確認を機構に対して返信(FAX)する際に記載してください。この場合、機構から特に受信確認に用いる様式の指定がない場合は、通信欄などに下記のように記載してください。

記載例)

くじ用数値

1	2	3
---	---	---

※数字は、明確に記載してください。

## 3. くじ用順位について

「くじ用順位」とは、同価格者が機構に対して見積書を送信(FAX)していただいた順に、「0:ゼロ」から順に付番させていただく番号となります。

- 例) ・同価格者が2者の場合、見積書の送信順に「0:ゼロ」、「1」  
 ・同価格者が3者の場合、見積書の送信順に「0:ゼロ」、「1」、「2」

## 4. 具体的な決定方法について

例) ・同価格者が2者の場合

見積業者	見積額	くじ用順位	くじ用数値
〇〇工務店	¥500,000-	0	123
□□工業	¥600,000-		999
△△組	¥500,000-	1	4

$123 + 4 = 127$   
 $127 \div 2 \text{ 者} = 63 \text{ 余り } 1$   
 ・余り「1」とくじ用順位「1」が合致する。  
 △△組 が契約の相手方となる。

例) ・同価格者が3者の場合

見積業者	見積額	くじ用順位	くじ用数値
〇〇工務店	¥500,000-	0	123
□□工業	¥600,000-		999
△△組	¥500,000-	1	4
◎◎工業	¥500,000-	2	1

$123 + 4 + 1 = 128$   
 $128 \div 3 \text{ 者} = 42 \text{ 余り } 2$   
 ・余り「2」とくじ用順位「2」が合致する。  
 ◎◎工業 が契約の相手方となる。